

不動産学の魅力

明海大学 不動産学部

第21回



柳崎 大輝
不動産学部3年

現在、日本では、「空き家」問題

では2023年時点で約900万戸

が不動産分野の重要キーワードとな

の空き家があると調査された。空き

家問題は、住宅と

家数は年々増えている状況である。

いう財(モノ)を活用しないことで、

空き家問題と空き家活用の魅力

空き家は、立地する地域に負の影響

を有している。一方、空き家は正しい情報に基づ

経済的価値を生み出す財を放棄

するといふ側面で社会的な

損失と言える。つまり、空き家問題

は、日本の不動産ストックの価値を

低下させるとも考えることができ

る。

を与える。また、空き家の増加は、

高齢者死亡後、空き家になるケース

で生じるのではなく、複雑な要因

が増加し、若年層の都心部へ移動増

加などに起因する。

更に、相続を受けた住宅の所有者

は、空き家問題の現状、発生原因、

空き家問題の解決方法などについて

が住宅の維持費用負担の増加で管理

を放棄するケースも増え、空き家は

探っている。

総務省が発表した「令和5年住

宅・土地統計調査」によると、日本

増加している。また、住宅に対する

需要が十分あれば、住宅が空き家と

担を拡大するなど自治体の空き家

対策を強化した。民間企業と地域コ

ミュニティは連携して、空き家リス

創造的なアイデアで価値を創出

法整備と政策支援、

民間企業の取り組み

とされる。空き家は、創造的

なアイデアによって新しい

価値が創出され、空き家問題

の解決につながるだろう。

【教員コメント】 日本全国的に

は、大都市など人口集中地域では不

動産の需要が増加し、価格が高騰し

ている。一方、地方の不動産は、大

都市と比べて安く借りることができ

るため、遠隔勤務などを積極的に取

り入れれば、空き家活用につなが

る。(金東煥)

る。

る。

る。

る。

る。

る。

る。

る。

る。

る。

る。

る。

る。